

第 1 章 新市のすがた

1 新市の概況

新生「つくば市」は、茨城県南西部に位置し、首都東京から北東に約50km、県庁所在地の水戸市から南西に約50km、新東京国際空港から北西に約40kmの距離に位置している。

また、北に水郷筑波国定公園の筑波山、東に我が国第2の湖霞ヶ浦、南に牛久沼など自然環境に恵まれた地域であり、筑波・稲敷台地と呼ばれる標高20～30mの平坦な地形となっている。

市域は、東西約14.9km、南北に約30.4km、総面積284.07km²で県内第2位の面積を有する都市であり、全域が筑波研究学園都市の区域である。

気候は、太平洋岸地域型の概ね温暖な気候で、冬季の降雨量は少なく、生活及び農作物の成育に適している。年間平均気温は14℃前後と比較的温暖な気候を有している。

合併時の人口は195,272人（平成14年11月1日常住人口）であり、水戸市について県下2番目の都市である。

産業構造は、平成12年国勢調査従業地就業者の状況からみると第1次産業は全就業者に占める割合が5.8%で、第2次産業が21.8%、第3次産業が70.1%、その他2.3%となっており、年々、第1次産業就業者の減少と第2次及び第3次産業就業者の増加傾向がうかがえる。特に、筑波研究学園都市建設による都市開発等の影響により、第3次産業就業者の増加が顕著である。

○人口（平成14年11月1日現在常住人口）

つくば市（合併前）

人口	169,707	人
男	87,901	人
女	81,806	人
世帯数	65,072	世帯

茎崎町

人口	25,565	人
男	12,572	人
女	12,993	人
世帯数	8,547	世帯

つくば市

人口	195,272	人
男	100,473	人
女	94,799	人
世帯数	73,619	世帯

○面積

つくば市（合併前）

259.59 Km²

茎崎町

24.48 Km²

つくば市

284.07 Km²

○産業構造（平成12年国勢調査）

つくば市（合併前）

第1次産業	4,740	人	(6.0%)
第2次産業	16,246	人	(20.5%)
第3次産業	56,172	人	(71.0%)
計	79,164	人	

茎崎町

第1次産業	648	人	(4.8%)
第2次産業	3,924	人	(29.2%)
第3次産業	8,800	人	(65.4%)
計	13,372	人	

つくば市

第1次産業	5,388	人	(5.8%)
第2次産業	20,170	人	(21.8%)
第3次産業	64,972	人	(70.1%)
計	92,615	人	

*総数には「分類不能の産業」を含む。

2 つくば市・茎崎町の沿革

1-1 つくば市のあゆみ

つくば市が形成されている筑波山麓南部一帯は、筑波・稲敷台地と呼ばれ、標高20～30mの台地が連なっている。この台地は、有史前数万年にわたって、西方の富士山、浅間山などから吹き出された火山灰の堆積（関東ローム層）によって形成されたものである。肥沃な土地に、田畑のほか豊かな平地林に覆われている地域である。

中世の常陸一帯を支配した小田氏の居城の跡地小田城跡は筑波地区にあり、国の特別史跡指定を受けている。

江戸時代、この地域一帯は土浦藩土屋氏、谷田部藩細川氏などいくつかの領主の所領となり、明治維新に引き継がれている。

つくば市を形成する旧5町村は、町村合併促進法により昭和30年前後に誕生した。

筑波郡大穂町は、昭和28年町制を施行、同年旧栗原村蓮沼を編入、30年に旧旭村要を編入、翌31年旧吉沼村と合併し誕生した。

筑波郡豊里町は、昭和30年旧旭村、旧上郷町の廃置分合で上郷町となり、同日豊里町と改名、翌年旧吉沼村の一部を編入し、誕生した。

筑波郡谷田部町は、昭和30年、旧谷田部町、旧真瀬村（一部を除く）、旧島名村、旧小野川村、旧葛城村の1町4村が合併して誕生した。

新治郡桜村は、昭和30年、旧栄村、旧九重村、旧栗原村が合併して誕生した。

筑波郡筑波町は、昭和30年、旧筑波町、旧田井村、旧北条町、旧田水山村、旧小田村が合併して誕生、31年には旧作岡村、32年には、菅間村を編入した。

昭和38年9月10日に、筑波研究学園都市建設の4つの候補地区（富士山麓、赤城、那須、筑波）の中から筑波が選ばれ、閣議了解された。これにより紫峰筑波山の裾野に広がる筑波・稲敷台地に、稲敷郡茎崎村を含めた4町2村は、国家事業としての筑波研究学園都市を形成することとなり、新しい都市づくりが進められた。

筑波研究学園都市の建設は、「東京の過密緩和」「科学技術の振興と高等教育の充実」を目的に「均衡のとれた田園都市」として整備され、国の試験研究教育機関を中心とした我が国最大の研究教育センターとなった。

昭和60年には、筑波研究学園都市の概成を記念し、「人間・居住・環境と科学技術」をテーマに国際科学技術博覧会が開催された。これを契機に、研究開発型の企業が進出し、「つくば」は、名実ともに国際科学技術都市「サイエンスシティ・つくば」として国内はもとより、世界中に知れ渡った。

そのような背景のもと、地元町村でも合併の機運が盛り上がり、「つくば」としての一体的な発展を目指し、昭和62年11月30日、筑波研究学園都市

を形成する6町村のうち3町1村（筑波郡大穂町・豊里町・谷田部町・新治郡桜村）が合併し、県内の自治体では20番目、全国では655番目の市「つくば市」が誕生した。さらに昭和63年1月31日に筑波郡筑波町も合併し、人口13万4,576人の県内第3位の新都市が誕生した。

現在、東京の秋葉原駅とつくばを45分で結ぶ鉄道つくばエクスプレスの建設が、平成17年の開業を目指し進められており、市内には、4ヶ所に駅が設置されるほか、沿線開発としての土地区画整理事業も進められている。

さらに、首都圏中央連絡自動車道の建設など、新たな都市基盤の整備も進められている。

1-2 つくば市の概況

○市役所所在地 茨城県つくば市大字谷田部4741番地

○特別職

市長	藤澤 順一
助役	欠員
収入役	横田 美農夫
教育長	藤井 伸二

(平成14年10月31日現在)

○議会

・議員定数

法定数40人 条例定数 36人

常任委員会数 4委員会

・議員名簿

議席番号	氏名	所属常任委員会等
1	小野 泰宏	文教厚生委員会委員
2	吉葉 茂	文教厚生委員会委員
3	木村 倉ノ助	産業経済委員会委員, 常磐新線及び圏央道特別委員会委員長
4	安井 茂	産業経済委員会委員
5	高野 進	文教厚生委員会委員
6	橋本 喜美子	文教厚生委員会副委員長
7	柳沢 逸夫	建設委員会委員
8	市川 三郎	建設委員会委員
9	田宮 直子	文教厚生委員会委員
10	須藤 光明	総務委員会委員
11	飯岡 宏之	文教厚生委員会委員, 議会報編集委員会委員長
12	今井 孝	建設委員会副委員長
13	鈴木 富士雄	産業経済委員会副委員長, 観光開発推進特別委員会委員長
14	慶野 利文	産業経済委員会委員, 議会運営委員会委員長
15	亀山 大二郎	総務委員会委員
16	塙 豊光	産業経済委員会委員
17	沖山 和治	産業経済委員会委員長
18	飯田 忠	建設委員会委員
19	野口 修	文教厚生委員会委員
20	塚田 規夫	産業経済委員会委員
21	山口 進	建設委員会委員長
22	塚本 武志	文教厚生委員会委員
23	星田 博	総務委員会委員長

24	大 串 宗二郎	産業経済委員会委員
25	内 田 千 恵	産業経済委員会委員
26	福 田 庄 市	議会議長，総務委員会委員
27	大 野 光 夫	総務委員会委員
28	山 中 たい子	総務委員会副委員長
29	金 子 和 雄	文教厚生委員会委員長
30	久保谷 孝 夫	建設委員会委員
31	滝 口 隆 一	副議長，建設委員会委員
32	坂 本 周 利	総務委員会委員
33	市 原 敬 司	建設委員会委員
34	塚 本 一 男	建設委員会委員
35	兼 平 英 雄	総務委員会委員
36	石 川 千 之	総務委員会委員

(平成14年10月31日現在)

○ 人口と世帯

常 住 人 口	人 口 (人)	世 帯 数 (戸)
平成14年11月1日現在	168,365	63,883
平成12年国勢調査	165,978	62,517

○ 区域 (平成14年10月31日現在)

・面積 259.59 Km² ・東西 14.9 km ・南北 25.4 km

○ 土地利用の現況 (単位 ; ha)

田	畑	宅地	山林・原野	その他	合計
4,450	6,324	4,902	4,979	5,304	25,959

(平成14年1月1日税務概要調査)

○ 産 業

・産業別人口

産 業	人 口 (人)
第1次	4,740
第2次	16,246
第3次	58,176

(平成12年国勢調査)

・生産高

	生産高 (百万円)
農 業	12,290
工 業	244,979

(平成12年生産農業所得総計)

(平成12年工業統計調査)

○ 教 育

・ 幼稚園（市立）

園 数	18園
学 級 数	61クラス
園 児 数	1,428人

* 園数18園のうち2園は休園中 (平成14年5月1日現在)

・ 幼稚園（私立）

園 数	6園
学 級 数	47クラス
園 児 数	1,208人

(平成14年5月1日現在)

・ 小学校（市立）

学 級 数	36校	
学級数	普 通	374クラス
	特 殊	31クラス
児 童 数	10,806人	

(平成14年5月1日現在)

・ 中学校（市立）

学 級 数	12校	
学級数	普 通	141クラス
	特 殊	12クラス
児 童 数	4,915人	

(平成14年5月1日現在)

・ 中学校（私立）

学 級 数	1校	茗溪学園
児 童 数	679人	

(平成14年5月1日現在)

・高等学校（県立：全日制）

学 校 数	5 校
生 徒 数	3, 387 人

（平成 14 年 5 月 1 日現在）

・高等学校（私立）

学 校 数	2 校
生 徒 数	1, 579 人

（平成 14 年 5 月 1 日現在）

・大学・短期大学

学 校 名	
筑波大学・大学院	国立
図書館情報大学・大学院	国立（平成 14 年 10 月 1 日筑波大学に合併）
筑波大学医療技術短期大学	国立
筑波技術短期大学	国立（視覚部・聴覚部）
東京家政学院筑波女子大学	私立
東京家政学院筑波短期大学部	私立

（平成 14 年 5 月 1 日現在）

・特殊学校

学 校 名	
つくば看護専門学校	県立

（平成 14 年 5 月 1 日現在）

・公民館

区 分	館 数	
公民館数（建物延床面積 1,501 m ² ～2,000 m ² 未満	3 館	大穂，豊里，谷田部
〃（建物延床面積 1,001 m ² ～1,500 m ² 未満	2 館	筑波，小野川
〃（建物延床面積 500 m ² ～1,000 m ² 未満	1 1 館	
計	1 6 館	

（平成 14 年 5 月 1 日現在）

○ 福 祉

・ 保育所（市立）

保育所数	20所
入所定員	1,940人
入所児童数	1,829人

（平成14年10月1日現在）

・ 保育所（認可私立）

保育所数	8所
入所定員	860人
入所児童数	1,011人

（平成14年10月1日現在）

・ 児童館（市立）

児童館数	15館
------	-----

（平成14年10月1日現在）

・ その他の福祉施設

区 分	施設数	
老人福祉センター	2館	市立
〃	1館	筑南地方広域行政事務組合
心身障害者福祉センター	4館	市立
市立病院	1館	病床数48床，診療科目4科， 医師数6人
保健センター	5館	市立
健康増進センター	1館	市立

（平成14年10月1日現在）

○ 予算及び決算（単位：千円）

会 計	平成14年度 当初予算額	平成13年度決算額			備考
		歳入	歳出	差引	
一般会計	49,315,000	49,743,996	47,578,615	2,165,381	
特別会計	31,761,551	29,777,408	28,811,967	965,441	
計	81,076,551	79,521,404	76,390,582	3,130,822	

（平成14年10月1日現在）

○ その他の施設

名称等	施設数	
圏民センター	3	谷田部（大ホール 1,100 人収容）筑波（大ホール 500 人収容）豊里（大ホール 694 人収容）
市立中央図書館	1	延床面積 2,696 m ²
つくばカピオ	1	延床面積 9,119 m ² ,アリーナ, ホール, 会議室他
ノバホール	1	延床面積 12,877 m ² , 客席 1,003 席, コンサートホール他
情報ネットワークセンター	1	情報ふれあいコーナー, パソコン研修室他
体育館	9	総合体育館(2), 勤労者体育センター(2), 圏民センター(2), その他(3)

(平成 14 年 10 月 1 日現在)

○ 消防

・ 非常備

分団数	人員		車輛				
	定員	現員	ポンプ車	水槽付ポンプ車	小型動力ポンプ積載車	指揮車	その他
60	1,036	985	35	8	20	6	1

(平成 14 年 4 月 1 日現在)

2-1 荃崎町のあゆみ

荃崎町は、つくば市と同様の関東地方特有の関東ローム層からなる台地と低地により形成されており、町内には西谷田川、谷田川、稲荷川、小野川の4河川が南北に流れ、南部に牛久沼がある水と緑に恵まれた気候温暖な土地柄である。

本町の前身である荃崎村は明治22年4月、市制町村制の施行により村の区域にあった11か村（上岩崎・下岩崎・高崎・菅間・天宝喜・樋の沢・大井・若栗・房内・小荃・庄兵衛新田の一部）を統合して誕生した。「荃崎村」の呼称は、比較的大規模であった小荃村と上岩崎、下岩崎、高崎から各一字をとり決定された。

昭和28年8月に「牛久・荃崎・岡田村合併協議会」が発足し、3村の合併について協議が開始され、さらに同年10月1日に町村合併促進法が施行され、昭和29年4月、牛久・岡田両村が合併し「牛久町」が誕生したが、荃崎村は合併に加わらなかった。

荃崎村は、意向調査を数回行ったが、村民の意見は相半ばする状態であったため、この時期の合併（昭和の大合併）を見送った。この後も県知事から「新市町村建設促進法」に基づく町村合併の実施勧告があったが、村の世論は変わらなかったため、単独村の道を選択し続けた。

昭和38年9月に、研究学園都市建設地を「筑波地区」に決定することが閣議了解された。

これにより、稲敷郡荃崎村を含めた4町2村は、筑波研究学園都市を形成することとなり、開発・整備が進められた。

特に、昭和45年5月、筑波研究学園都市建設法が施行され、この法律の中で6町村の区域を研究学園都市の地域として位置づけられ、一体的なまちづくりが進められた。

しかし、農業を基幹経済とした順農村地域であった荃崎村は、昭和40年代の後半から民間による大規模宅地開発が行われ、急激な人口増加傾向に転じ、総人口の約75%が東京などから移転してきた新しい住民となり首都圏のベッドタウンとしての機能を有するまちとなった。

さらに、新しい住民の就業者の多くが常磐線牛久駅から東京方面への通勤者であったため、筑波研究学園都市を構成する地域であったが、牛久・東京指向の強いまちであった。

昭和58年1月1日、荃崎村が町制施行により「荃崎町」となった。近年は、昭和40年代の後半から新しい住民となり、東京方面へ通勤していた多くの人々が定年を迎え在宅者が多くなり、牛久・東京指向から地元指向さらにつくば指向へとライフスタイルが大きく変化してきた。

2-2 茎崎町の概況

○役場所在地 茨城県稲敷郡茎崎町小茎288番地

○特別職

町長	栗原正光
助役	欠員
収入役	中島正紀
教育長	野口文夫

(平成14年10月31日現在)

○議会

・議員定数

法定数30人 条例定数 16人

常任委員会数 3委員会

・議員名簿

議席番号	氏名	所属常任委員会等
1	橋本佳子	教育民生委員会委員
2	大坪修	経済建設委員会委員
3	木村光男	教育民生委員会委員
4	古山和一	経済建設委員会副委員長
5	馬場治見	総務委員会委員
6	坂本禎子	教育民生委員会副委員長
7	田村盛一	総務委員会副委員長
8	野口文雄	経済建設委員会委員
9	小早川一	経済建設委員会委員
10	野口久寿美	総務委員会委員, 議会だより編集委員長
11	中泉慶一	教育民生委員会委員長
12	柳田理則	経済建設委員会委員長
13	伊藤達也	総務委員会委員長
14	北島文雄	総務委員会委員, 議会運営委員会委員長, 交通体系整備促進特別委員長
15	宮本次郎	副議長, 教育民生委員会委員
16	安田一宏	議会議長, 総務委員会委員

(平成14年10月31日現在)

○人口と世帯

常住人口	人口(人)	世帯数(戸)
平成14年11月1日現在	25,565	8,547
平成12年国勢調査	25,836	8,345

○ 区域（平成14年10月31日現在）

・面積 24.48 Km² ・東西 5.0 km ・南北 8.3 km

○ 土地利用の現況（単位；ha）

田	畑	宅地	山林・原野	その他	合計
334	741	484	429	460	2,448

（平成14年1月1日税務概要調書）

○ 産 業

・産業別人口

産 業	人 口（人）
第1次	648
第2次	3,924
第3次	8,879

（平成12年国勢調査）

・生産高

	生産高（百万円）
農 業	1,530
工 業	111,502

（平成12年生産農業所得総計）

（平成12年工業統計調査）

○ 教 育

・幼稚園（町立）

園 数	2園
学 級 数	6クラス
園 児 数	156人

（平成14年5月1日現在）

・幼稚園（私立）

園 数	2園
学 級 数	10クラス
園 児 数	297人

（平成14年5月1日現在）

・小学校（町立）

学 級 数	3校	
学級数	普 通	36クラス
	特 殊	4クラス
児 童 数	1,146人	

（平成14年5月1日現在）

・中学校（町立）

学 級 数		2 校
学級数	普 通	1 9 クラス
	特 殊	2 クラス
児 童 数		6 5 6 人

（平成 14 年 5 月 1 日現在）

・高等学校（県立：全日制）

学 校 数	1 校
生 徒 数	5 5 1 人

（平成 14 年 5 月 1 日現在）

・公民館

区 分	館 数	
公民館数（建物延床面積 1,501 m ² ～2,000 m ² 未満	1 館	中央公民館
計	1 館	

（平成 14 年 5 月 1 日現在）

○ 福 祉

・保育所（町立）

保育所数	3 所
入所定員	1 8 0 人
入所児童数	1 6 5 人

（平成 14 年 10 月 1 日現在）

・児童館（町立）

児童館数	1 館（児童センター）
------	-------------

（平成 14 年 10 月 1 日現在）

○ その他の施設

名 称 等	施設数	
圏民センター	1	大ホール 1,050 人収容
レイクサイドくきざき	1	茨城県国民年金健康センター， 宿泊定員 8 9 名，プール

（平成 14 年 10 月 1 日現在）

○ 予算及び決算（単位：千円）

会 計	平成 14 年度 当初予算額	平成 1 3 年度決算額			備考
		歳入	歳出	差引	
一般会計	7,511,000	6,911,846	6,695,487	216,359	
特別会計	6,447,000	6,404,873	6,229,154	175,719	
計	13,958,000	13,316,719	12,924,641	392,078	

（平成 14 年 10 月 1 日現在）

○ 消防

・ 非常備

分団数	人員		車輛				
	定員	現員	ポン プ 車	水 槽 付 ポ ン プ 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	指揮車	その他
22	400	364	7	-	14	1	-

（平成 14 年 4 月 1 日現在）